

東野地区防災計画



平成 30 年 3 月
東野地区自主防災会

～ 目 次 ～

- 1 はじめに
- 2 計画の対象地区の範囲
- 3 基本的な考え方
 - (1) 基本方針（目的）
 - (2) 活動目標
 - (3) 長期的な活動計画
- 4 地区の特性
 - (1) 自然特性
 - (2) 社会特性
- 5 防災活動の内容
 - (1) 防災活動の体制（班編成）
 - (2) 平常時の活動・事前の対策
 - (3) 発災直前の活動
 - (4) 災害時の活動
 - (5) 復旧・復興期の活動
 - (6) 市、消防、他団体、ボランティア等との連携
- 6 実践と検証
 - (1) 防災訓練の実施・検証
 - (2) 防災意識の普及啓発
 - (3) 計画の見直し

1 はじめに

平成 25 年 6 月に災害対策基本法が改正され、地域コミュニティにおける共助推進のために「地区防災計画制度」が新たに創設されました。

これは、飯田市内の各地区の居住者及び事業者が行う自発的な防災活動に関する計画であり、地域コミュニティが主体的につくり上げるボトムアップ型のものとなります。

そこで、当東野地区も当該計画の策定を一層進めるために、平成 26 年 3 月に内閣府が策定した「地区防災計画ガイドライン」を参考に、飯田市危機管理室が策定した地区防災計画の手引に基づき「東野地区防災計画」を作成しました。特に、事前の防災対策や地域防災力の向上を図るために、従来のマニュアル的なものから表形式の様式を多用し、より分かりやすく実効性のあるものとなっています。

本書を含む各地区自主防災会長から提案された地区防災計画については、災害対策基本法第 42 条の 2 に基づく地区防災計画として飯田市防災会議に諮り飯田市地域防災計画の中に位置づけられる予定となっています。

平成 27 年 11 月

東野まちづくり会議

2 計画の対象地区の範囲

地区	支部	自治会
<small>ひがしの</small> 東野地区 人口 3,006人 世帯 1,337戸	第1支部 <人口112人 世帯61戸>	<small>もと まち</small> 元町 人口31人 世帯15戸 <small>ちゅうおうどおり</small> 中央通4-2 人口56人 世帯32戸 <small>ちゅうおうどおり</small> 中央通4-3 人口25人 世帯14戸
	第2支部 <人口204人 世帯92戸>	<small>とうわちよう</small> 東和町1 人口72人 世帯27戸 <small>とうわちよう</small> 東和町2 人口41人 世帯19戸 <small>とうわちよう</small> 東和町3 人口30人 世帯14戸 <small>とうわちよう</small> デイスカン東和町 人口61人 世帯32戸
	第3支部 <人口296人 世帯128戸>	<small>あずまちょうみなみ</small> 吾妻町南 人口121人 世帯52戸 <small>あずまちょうひがし</small> 吾妻町東 人口98人 世帯43戸 <small>あずまちょうにし</small> 吾妻町西 人口77人 世帯33戸
	第4支部 <人口193人 世帯82戸>	<small>すずかちよう</small> 鈴加町1 人口49人 世帯23戸 <small>すずかとうしん</small> 鈴加東新 人口144人 世帯59戸
	第5支部 <人口215人 世帯109戸>	<small>とうしんちよう</small> 東新町1 人口139人 世帯68戸 <small>とうしんちよう</small> 東新町2 人口76人 世帯41戸
	第6支部 <人口164人 世帯69戸>	<small>にしき ちょう</small> 錦町 人口164人 世帯69戸
	第7支部 <人口564人 世帯248戸>	<small>たかはちようひがし</small> 高羽町東 人口564人 世帯248戸
	第8支部 <人口313人 世帯144戸>	<small>たかはちようみなみ</small> 高羽町南 人口313人 世帯144戸
	第9支部 <人口281人 世帯135戸>	<small>みや まえ</small> 宮の前 人口153人 世帯76戸 <small>すわちよう</small> 諏訪町 人口128人 世帯59戸
	第10支部 <人口664人 世帯269戸>	<small>みやのうえ</small> 宮ノ上 人口664人 世帯269戸
10支部合計	人口3,006人 世帯1,337戸	

3 基本的な考え方

(1) 基本方針（目的）

- ・ 平常時及び災害時における地域防災力を高めることにより、地域コミュニティを維持・活性化すること。
- ・ これらを実現するために、地域に暮らす住民一人ひとりが協力して防災活動をはじめとした協力体制を構築する。
- ・ 平時から関係する団体と地域が一体となって、目標に向けて連携体制を構築する。

(2) 活動目標

【平時の目標】

- ・ 災害時の避難場所や情報入手方法を知っている世帯割合を平成 30 年までに 100%を目指す。
- ・ 家具の転倒防止を行なっている世帯割合を平成 30 年までに 50%を目指す。
- ・ 3 日以上以上の食糧や水の備蓄を行なっている世帯割合を平成 30 年までに 50%を目指す。
- ・ 火災報知機の設置世帯割合を平成 30 年までに 90%を目指す。

【地震】

- ・ 地震による犠牲者をゼロにするため、家具の転倒防止とガラス飛散防止を全世帯で実施する。
- ・ 3 分、3 時間、3 日間を自助・共助で乗り切る。

【土砂災害・浸水害】

- ・ 土砂災害による犠牲者をゼロにするため、土砂災害特別警戒区域居住者への情報伝達を 10 分以内、避難を 30 分以内に行う。
- ・ 30 分以内で行う警戒態勢確立・避難情報伝達・事前避難の完了

【雪害】

- ・ 大雪に伴う救急搬送の遅れや消火活動の遅滞といった事態にならない、通常なら助かる命が大雪でも守られる地区における除雪態勢の構築

(3) 長期的な活動計画

- ・ 応急避難施設である「飯田市公民館、飯田文化会館、東野自治会館」の耐震化工事
- ・ 地域避難計画の策定
- ・ 地域コミュニティ（各地区自主防災会等）への全住民の加入促進
- ・ 避難行動要支援者に対する個別避難支援計画の策定

4 地区の特性

(1) 自然特性

ア 当地域で予測される自然災害

	災害の種類	発生時期	町名・集落
○	地震による家屋倒壊 (1割以上)	地震発生時	全域
○	地震による火災延焼 (1箇所あたり10戸以上)	地震発生時	全域
○	地震によるがけ崩れ	地震発生時	宮ノ上、高羽町、宮の前
○	地震によるため池決壊	地震発生時	柏原堤池
○	地震による河道閉塞	地震発生時	吾妻町南
○	がけ崩れ	降雨時	宮ノ上、高羽町、宮の前
○	浸水害(内水はん濫)	降雨時	東和町、吾妻町南
○	大雪(積雪深30cm以上)	降雪期	全域

イ 災害発生予測場所における居住者・集落等一覧

災害種類	住所	世帯主名	世帯人員
土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)	■■■■■	■■■■■	2
	■■■■■	■■■■■	3
	■■■■■	■■■■■	3
	■■■■■	■■■■■	2
浸水想定区域	谷川沿岸区域(東和町・吾妻南)		

ウ 土砂災害警戒区域等にある要援護者施設

区域の名称	所在地	施設名	施設の種類
土砂災害警戒区域(イエローゾーン)	該当無し		
土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)	該当無し		

エ 浸水想定区域内要配慮者施設

河川の名	所在地	施設名	施設の種類
谷川	鈴加町1-24	すきがら医院	内科診療所
	東和町2-18	代田耳鼻咽喉科医院	耳鼻咽喉診療所
	吾妻町139	飯田市公民館	公民館
	錦町・東和町・吾妻町	中央公園	公園

オ 過去の災害

いつ	災害名	場所	被害状況
昭和 22 年 4 月 20 日	飯田市大火	JR 飯田線南側地域	全焼
昭和 36 年 6 月	三六災害	飯田下伊那全域	土砂、浸水箇所随所

(2) 社会特性

ア 当地域で発生が予想される人為災害

	災害の種類	発生時期	町名・集落
○	長時間停電	強風、降雨、大雪	全域
○	大規模火災	通年	全域
○	大規模交通事故	通年	全域
○	大規模列車事故	通年	元町、上飯田、高羽町 1・2、東和町 3、 錦町 1・2、宮の前、諏訪町、東新町 2

イ 自治会別高齢化率と生産年齢人口

自治会名	人口	高齢化率		生産年齢人口	
		65 歳以上人口	高齢化率	人口	割合
元町	31 人	12 人	38.7%	14 人	45.1%
中央通り 4-2	56 人	12 人	21.4%	37 人	66.0%
中央通り 4-3	25 人	3 人	12.0%	21 人	84.0%
東和町 1	72 人	27 人	37.5%	38 人	52.7%
東和町 2	41 人	17 人	41.4%	22 人	53.6%
東和町 3	30 人	11 人	36.6%	17 人	56.6%
ディスカソ東和町	61 人	15 人	24.5%	37 人	60.6%
吾妻町南	121 人	60 人	49.5%	55 人	45.4%
吾妻町東	98 人	34 人	34.6%	55 人	56.1%
吾妻町西	77 人	32 人	41.5%	37 人	48.0%
鈴加町 1	49 人	16 人	32.6%	31 人	63.2%
鈴加東新	144 人	63 人	43.7%	72 人	50.0%
東新町 1	139 人	52 人	37.4%	80 人	57.5%
東新町 2	76 人	31 人	40.7%	39 人	51.3%
錦町	164 人	59 人	35.9%	88 人	53.6%
高羽町東	564 人	183 人	32.4%	330 人	58.5%
高羽町南	313 人	107 人	34.1%	173 人	55.2%
宮の前	153 人	70 人	45.7%	74 人	48.3%
諏訪町	128 人	54 人	42.1%	59 人	46.0%
宮ノ上	664 人	157 人	23.6%	410 人	61.7%
合計	3,006 人	1,015 人	33.4%	1,689 人	55.7%

5 防災活動の内容

(1) 防災活動の体制（班編成）

役職・班名 【担当者名】		平常時の役割	発災直後の役割 “集まれた人で！”	応急期の役割 ～6時間後以降
自主防災会長 [redacted]	→	総括	◎「2次被害、受傷事故の防止」 ①被害状況の把握 ②被害の概要を直ちに災害対策本部へ連絡。救助支援が必要な場合はその旨を連絡 ③避難施設の簡易応急危険度判定（外観→屋内） ④備蓄倉庫からの資機材運搬 ⑤避難所受付準備 ⑥避難所開設	指揮・意思決定
〃 副会長 [redacted]	→	会長の補佐		会長の補佐
総務班【班長】 [redacted]	→	全体調整、要配慮者の把握		全体把握、被害・避難状況の全体把握
情報班【班長】 [redacted]	→	情報の収集・共有・伝達		情報の収集・共有・伝達（状況把握、報告活動等）
消火班【班長】 [redacted]	→	器具点検、防災広報		初期消火活動
救助・救護班【班長】 [redacted]	→	資機材調達・整備		負傷者の救出、救護活動
避難誘導班【班長】 [redacted]	→	避難路、避難施設の確認		住民の避難誘導活動
給食・給水班【班長】 [redacted]	→	器具点検		水・食糧の配分、炊き出し等の燃料確保、給食・給水活動
連絡調整班【班長】 [redacted]	→	近隣他団体との事前調整		他団体との調整
物資配分班【班長】 [redacted]	→	個人備蓄の啓発活動		物資配分、物資需要の把握

清掃班 【班長】 ■■■■■ ■■■■■	→	ごみ処理対策の検討		ごみ処理の指示
衛生班【班長】 ■■■■■ ■■■■■	→	仮設トイレの対策検討		防疫対策、し尿処理
安全点検班 【班長】 ■■■■■	→	危険箇所の巡回点検		2次被害軽減のための 広報
防犯・巡回班 【班長】 ■■■■■ ■■■■■	→	警察との連絡体制の 検討		防犯巡回活動
応急修繕班 【班長】 ■■■■■	→	資機材、技術者との 連携検討		応急修理の支援

(2) 平常時の活動・事前の対策

ア 各世帯が取り組むこと

何を	いつ・いつまでに	誰が	どのように
3日分以上の水・食糧・生活物資の備蓄 (保存期限点検、補充含む)	日常的に実施	家事を担う者を中心に家族全員	家庭内流通備蓄の推進 (購入→備蓄→消費)
靴など	日常的に実施	家族全員	寝室の身近な場所に配置しておく
避難場所・避難所の確認	4月の家族会議または、隣組の会議後	世帯主が呼びかけ	家族会議で場所を確認する。現地に徒歩で行動してみる
安否確認方法の確認	4月の家族会議または、隣組の会議後 毎月1日・15日	世帯主が家族に呼びかけ	伝言ダイヤル171の使い方。電話不通時のメモの書き方・置く場所の確認。定時集合場所の確認
自宅及びその周辺の災害リスクの確認	年に1回	家族全員	歩いて自宅敷地及びその周辺を確認
建物の耐震化	平成32年度までに	世帯主	無料の耐震診断後、資金計画を立案し実施
家具の転倒防止	今年度中	中学生以上	L字金具等による固定 若しくは配置換え
ガラス飛散防止フィルム張り	3年以内	中学生以上	計画的にフィルム張りを実施
土のう袋、砂の備蓄	出水期前まで	世帯主	ホームセンター等で土のう袋を購入。砂を確保できる場所の事前確認

イ 組合として取り組むこと

何を	いつまでに	誰が	どのように
地震発生時の一時避難場所の決定と周知	防災訓練の1ヶ月前までに	組長又は自治会長	地区自主防災会と構成員とともに適切な場所を選定し決定する。決定後、隣組内へ通知やチラシで周知
土砂災害・浸水害時の避難場所の決定と周知	出水期前まで	組長又は自治会長	地区自主防災会と構成員とともに適切な場所を選定し決定する。決定後、隣組内へ通知やチラシで周知
安否確認手段の確認と訓練	防災訓練の1ヶ月前までに	組長又は自治会長	隣組としての安否確認方法を検討して決定する。訓練で実際に実施。
各世帯で実施する事項の進捗状況確認	防災訓練	組長又は自治会長	避難場所や情報伝達方法、3日分以上の備蓄等について実施状況を訓練参加者に確認する。
避難行動要支援者の把握と支援者の決定	防災訓練	組長又は自治会長	隣組及び近隣の避難行動要支援者を隣組内からの情報提供により把握する。その後会議を開き支援者を決定する。
助けあいマップ若しくは要支援者個別計画の策定	防災訓練	組長又は自治会長及び支援者	いつ、どのようになったときに、誰が、誰のどこへ支援に行くかを記載したものを作成して地域で共有する。
災害種別（地震、土砂災害、浸水害）に応じた避難経路の検討（2ルート以上）	防災訓練	組長又は自治会長及び各世帯	様々な災害を想定して、2ルート以上の避難ルートを検討する。

ウ 地区として取り組むこと

何を	いつまでに	誰が	どのように
指定避難場所、指定緊急避難所の安全性の確認とその対応	防災訓練1ヶ月前までに	自主防災会役員	地震、土砂災害、浸水害の別に構造やハザードマップ等を用いて安全性を確認。
避難所開設・運営に関する訓練	防災訓練時	自主防災会役員をはじめとした住民	市防災倉庫内にある資機材を用いて避難所開設・運営訓練を行う。避難所運営マニュアルも参照する。
助けあいマップ若しくは要支援者個別計画の策定	防災訓練の1ヶ月前までに	隣組長、自主防災会役員	いつ、どのようになったときに、誰が、誰のどこへ支援に行くかを記載したものを作成して地域で共有する。
災害種別（地震、土砂災害、浸水害）ごとに発災及び状況付与された総合防災訓練の実施	毎年防災の日前後に	全住民	実働型の訓練を組み合わせ、状況設定をして、その周知をして訓練実施。事前に被害予測を説明する。
実働に特化した訓練の実施（情報伝達、救助、救護、避難所開設・運営、消火等）	毎年防災の日前後に	全住民	それぞれの分担に合わせて立案から実施までを取り組む。訓練当日は住民の参加を促す工夫をする。
災害対応資機材の備蓄及び使用方法の周知・訓練	防災訓練、地域行事	自主防災会役員、住民	資機材を利用する機械に操作方法の習得や、内容物の点検を行う。
用水路、河川の清掃	出水期前	住民	水路のつまりやゴミの除去の実施
防災教育・学習の普及啓発	年に2回	住民、自主防災会役員	自主防災会役員向けの研修会を総会に合わせて実施。 住民向けのビデオ鑑賞や研修会を実施。

エ 備蓄資機材の整備計画（3か年整備計画は別紙参照）

No.	区分	品名	既整備数	最終整備目標数	備考
1	情報伝達用具	本部看板	1	1	
2		スピーカーセット	0	0	
3		電気メガホン	19	22	
4		無線機	0	0	
5	消火用具	ファイヤーレンジャー	0	0	山林火災想定地区
6		消火器（消火器格納庫）	168	198	
7		初期消火用具（ホース3本、管鎗等）	24	27	
8	救出用具	梯子（2連アルミ）	5	10	
9		チェーンソー	1	4	
10		救助用工具セット	3	8	
11		ハンマー	8	12	
12		カケヤ	9	15	
13		ボルトクリッパー（鉄線鋏）	1	5	
14		一輪車	17	23	
15		リヤカー	9	13	
16		油圧ジャッキ	3	4	
17		チェンブロック	0	3	
18		ウインチ	0	3	
19		レスキューキット（リュック型）	5	8	
20	救護用具	救急セット 50	8	12	
21		救急セット 20	1	2	
22		担架	11	12	
23		レスキューボード（簡易担架）	0	2	
24	避難所運営用具	コードリール	11	27	
25		投光器	19	27	
26		発電機（静音型）0.8kVA	14	20	
27		炊飯器・釜（3～5升炊）	2	3	
28		ガスボンベ	0	2	
29		防災テント	9	14	
30		防水シート（2間×3間）	57	122	
31		防災ヘルメット	475	619	
32		簡易トイレ	0	24	
33		毛布	0	194	
34		簡易ベッド	0	16	
35		車椅子	0	9	
36	給水用具	浄水器	0	1	

37	浸水害用品	土のう	0	200	
38	その他	消火器格納庫	10	10	

オ 地区防災備蓄倉庫一覧

(ア) 整備済の防災備蓄倉庫（備蓄場所）・水防倉庫

No.	倉庫名称	所在地	主な備蓄品	管理者（鍵管理者）
1	飯田東中学校防災備蓄倉庫	高羽町3-16	毛布、食糧品、投光器、発電機、簡易トイレ、給水タンク、担架、リヤカーほか	飯田市 (東野まちづくり 会議会長、東野自 治振興センター 長、飯田東中学校 教頭)
2	東和町第1合同防災倉庫	中央公園（吾妻）内	発電機、消火器、救急セット50、投光器、コードリール、炊飯器ほか	自治会長
3	東和町第2合同防災倉庫	東和町2-73-3		
4	吾妻町南自治会防災倉庫	中央公園（吾妻）内	発電機、消火器、投光器、救急セット50ほか	自治会長
5	吾妻町東自治会防災倉庫	吾妻町86-2	発電機、電気メガホン、消火器ほか	自治会長
6	吾妻町西自治会防災倉庫	中央公園（吾妻）内	消火器、投光器、発電機、防水シートほか	自治会長
7	鈴加町1丁目自治会防災倉庫	東野自治会館内	電気メガホン、消火器、梯子、担架ほか	自治会長
8	鈴加東新自治会防災倉庫	中央公園（東和）内	投光器、発電機、防災テント、消火器ほか	自治会長
9	東新町1丁目自治会防災倉庫	東新町1-54-1 東新町1丁目自治会館内	防災テント、電気メガホン、消火器、救助用工具セットほか	自治会長
10	錦町自治会防災倉庫	中央公園（東和）内	投光器、発電機、防災テント 消火器ほか	自治会長

11	高羽町東自治会防災倉庫	高羽 2 号公園内	電気メガホン、初期消火用具、救急セット 50、消火器ほか	自治会長
12	高羽町南自治会防災倉庫	駅西広場内	防災倉庫、投光器、発電機、防災テント、レスキューキット、救急セット 50 ほか	自治会長
13	宮の前自治会防災倉庫	宮の前 4440-1	投光器、発電機、防災テント、コードリール、レスキューキット、電気メガホンほか	自治会長
14	諏訪町自治会防災倉庫	諏訪町 39-8	投光器、発電機、防災テント、救急セット 50、リヤカーほか	自治会長
15	宮ノ上自治会防災倉庫	宮ノ上 4719-1	投光器、発電機、初期消火用具、レスキューセット、防災テントほか	自治会会長

(イ) 計画中の防災備蓄倉庫

No.	倉庫名称	所在地	建設予定年度	管理者
1	東野地区自主防災会備蓄倉庫	東野公民館駐車場内	H30 年度以降	東野地区自主防災会長
2	中央通り 4-3 自治会防災倉庫	未定	H30 年度以降	自治会長
3	宮ノ上自治会第 3 防災倉庫	宮ノ上内	H30 年度以降	自治会長

(ウ) 倉庫別備蓄品の状況と購入計画

a 東和町第1・2合同防災倉庫・

No.	区分	品名	数量	目標数量	備考	
1	情報伝達用具	本部看板	0	0		
2		スピーカーセット	0	0		
3		電気メガホン	2	2		
4		無線機	0	0		
5	消火用具	ファイヤーレンジャー	0	0		
6		消火器 (消火器格納庫)	29	32		
7		初期消火用具 (ホース3本、管鎗等)	6	7		
8	救出用具	梯子 (2連アルミ)	0	0		
9		チェーンソー	0	0		
10		救助用工具セット	1	1		
11		ハンマー	0	1		
12		カケヤ	0	0		
13		ボルトクリッパー (鉄線鋏)	0	1		
14		一輪車	3	3		
15		リヤカー	0	1		
16		油圧ジャッキ	1	1		
17		チェンブロック	0	1		
18		ウインチ	0	1		
19		レスキューキット (リュック型)	0	1		
20	救護用具	救急セット50	1	1		
21		担架	2	2		
22		レスキューボード (簡易担架)	0	1		
23	避難所運営用具	コードリール	2	2		
24		投光器	2	2		
25		発電機 (静音型) 0.8kVA	1	1		
26		炊飯器・釜 (3～5升炊)	2	2		
27		ガスボンベ	0	1		
28		防災テント	0	1		
29		防水シート (2間×3間)	0	0		
30		防災ヘルメット	70	93		
31		簡易トイレ	0	3		
32		毛布	0	28		
33		簡易ベッド	0	4		
34		車椅子	0	1		
35		給水用具	浄水器	0	0	
36		浸水害用品	土のう	0	0	

b 吾妻町南自治会防災倉庫

No.	区分	品名	数量	目標数量	備考
1	情報伝達用具	本部看板	0	0	
2		スピーカーセット	0	0	
3		電気メガホン	1	1	
4		無線機	0	0	
5	消火用具	ファイヤーレンジャー	0	0	
6		消火器（消火器格納庫）	16	16	
7		初期消火用具（ホース3本、管鎗等）	0	0	
8	救出用具	梯子（2連アルミ）	1	1	
9		チェーンソー	0	0	
10		救助用工具セット	0	0	
11		ハンマー	1	1	
12		カケヤ	1	1	
13		ボルトクリッパー（鉄線鋏）	0	0	
14		一輪車	1	1	
15		リヤカー	2	2	
16		油圧ジャッキ	0	0	
17		チェンブロック	0	0	
18		ウインチ	0	0	
19		レスキューキット（リュック型）	0	0	
20	救護用具	救急セット50	1	1	
21		担架	0	0	
22		レスキューボード（簡易担架）	0	0	
23	避難所運営用具	コードリール	1	1	
24		投光器	1	1	
25		発電機（静音型）0.8kVA	2	2	
26		炊飯器・釜（3～5升炊）	0	0	
27		ガスボンベ	0	0	
28		防災テント	0	0	
29		防水シート（2間×3間）	0	0	
30		防災ヘルメット	12	12	
31		簡易トイレ	0	0	
32		毛布	0	0	
33		簡易ベッド	0	0	
34		車椅子	0	0	
35	給水用具	浄水器	0	0	
36	浸水害用品	土のう	0	0	

c 吾妻町東自治会防災倉庫

No.	区分	品名	数量	目標数量	備考
1	情報伝達用具	本部看板	0	0	
2		スピーカーセット	0	0	
3		電気メガホン	1	1	
4		無線機	0	0	
5	消火用具	ファイヤーレンジャー	0	0	
6		消火器（消火器格納庫）	7	7	
7		初期消火用具（ホース3本、管鎗等）	0	0	
8	救出用具	梯子（2連アルミ）	0	0	
9		チェーンソー	0	0	
10		救助用工具セット	0	0	
11		ハンマー	1	1	
12		カケヤ	1	1	
13		ボルトクリッパー（鉄線鋏）	0	0	
14		一輪車	0	0	
15		リヤカー	0	0	
16		油圧ジャッキ	0	0	
17		チェンブロック	0	0	
18		ウインチ	0	0	
19		レスキューキット（リュック型）	0	0	
20	救護用具	救急セット50	0	0	
21		担架	0	0	
22		レスキューボード（簡易担架）	0	0	
23	避難所運営用具	コードリール	0	2	
24		投光器	0	2	
25		発電機（静音型）0.8kVA	1	2	
26		炊飯器・釜（3～5升炊）	0	0	
27		ガスボンベ	0	0	
28		防災テント	0	0	
29		防水シート（2間×3間）	0	0	
30		防災ヘルメット	27	27	
31		簡易トイレ	0	0	
32		毛布	0	0	
33		簡易ベッド	0	0	
34		車椅子	0	0	
35	給水用具	浄水器	0	0	
36	浸水害用品	土のう	0	0	

d 鈴加町1丁目自治会防災倉庫

No.	区分	品名	数量	目標数量	備考
1	情報伝達用具	本部看板	0	0	
2		スピーカーセット	0	0	
3		電気メガホン	1	1	
4		無線機	0	0	
5	消火用具	ファイヤーレンジャー	0	0	
6		消火器（消火器格納庫）	3	3	
7		初期消火用具（ホース3本、管鎗等）	0	0	
8	救出用具	梯子（2連アルミ）	1	2	
9		チェーンソー	0	0	
10		救助用工具セット	0	0	
11		ハンマー	1	2	
12		カケヤ	0	0	
13		ボルトクリッパー（鉄線鋏）	0	0	
14		一輪車	0	0	
15		リヤカー	0	0	
16		油圧ジャッキ	0	0	
17		チェンブロック	0	0	
18		ウインチ	0	0	
19		レスキューキット（リュック型）	0	0	
20	救護用具	救急セット50	0	1	
21		担架	1	1	
22		レスキューボード（簡易担架）	0	0	
23	避難所運営用具	コードリール	0	0	
24		投光器	0	0	
25		発電機（静音型）0.8kVA	0	0	
26		炊飯器・釜（3～5升炊）	0	0	
27		ガスボンベ	0	0	
28		防災テント	0	1	
29		防水シート（2間×3間）	0	0	
30		防災ヘルメット	23	23	
31		簡易トイレ	0	2	
32		毛布	0	10	
33		簡易ベッド	0	0	
34		車椅子	0	0	
35	給水用具	浄水器	0	0	
36	浸水害用品	土のう	0	0	

e 鈴加東新自治会防災倉庫

No.	区分	品名	数量	目標数量	備考
1	情報伝達用具	本部看板	0	0	
2		スピーカーセット	0	0	
3		電気メガホン	1	1	
4		無線機	0	0	
5	消火用具	ファイヤーレンジャー	0	0	
6		消火器（消火器格納庫）	10	10	
7		初期消火用具（ホース3本、管鎗等）	0	0	
8	救出用具	梯子（2連アルミ）	0	0	
9		チェーンソー	0	0	
10		救助用工具セット	0	0	
11		ハンマー	0	0	
12		カケヤ	0	0	
13		ボルトクリッパー（鉄線鋏）	0	0	
14		一輪車	0	0	
15		リヤカー	1	1	
16		油圧ジャッキ	0	0	
17		チェンブロック	0	0	
18		ウインチ	0	0	
19		レスキューキット（リック型）	0	0	
20	救護用具	救急セット50	1	1	
21		担架	0	0	
22		レスキューボード（簡易担架）	0	0	
23	避難所運営用具	コードリール	2	2	
24		投光器	2	2	
25		発電機（静音型）0.8kVA	1	1	
26		炊飯器・釜（3～5升炊）	0	0	
27		ガスボンベ	0	0	
28		防災テント	1	1	
29		防水シート（2間×3間）	5	5	
30		防災ヘルメット	30	30	
31		簡易トイレ	0	0	
32		毛布	0	0	
33		簡易ベッド	0	0	
34		車椅子	0	0	
35	給水用具	浄水器	0	0	
36	浸水害用品	土のう	0	0	

f 東新町1丁目自治会防災倉庫

No.	区分	品名	数量	目標数量	備考
1	情報伝達用具	本部看板	0	0	
2		スピーカーセット	0	0	
3		電気メガホン	1	1	
4		無線機	0	0	
5	消火用具	ファイヤーレンジャー	0	0	
6		消火器（消火器格納庫）	3	3	
7		初期消火用具（ホース3本、管鎗等）	1	1	
8	救出用具	梯子（2連アルミ）	0	1	
9		チェーンソー	0	0	
10		救助用工具セット	1	1	
11		ハンマー	1	1	
12		カケヤ	0	0	
13		ボルトクリッパー（鉄線鋏）	0	0	
14		一輪車	0	0	
15		リヤカー	1	1	
16		油圧ジャッキ	0	0	
17		チェンブロック	0	0	
18		ウインチ	0	0	
19		レスキューキット（リュック型）	0	0	
20	救護用具	救急セット20	0	1	
21		担架	1	1	
22		レスキューボード（簡易担架）	0	0	
23	避難所運営用具	コードリール	1	1	
24		投光器	0	0	
25		発電機（静音型）0.8kVA	0	1	
26		炊飯器・釜（3～5升炊）	0	0	
27		ガスボンベ	0	0	
28		防災テント	1	1	
29		防水シート（2間×3間）	0	0	
30		防災ヘルメット	55	75	
31		簡易トイレ	0	1	
32		毛布	0	0	
33		簡易ベッド	0	0	
34		車椅子	0	0	
35	給水用具	浄水器	0	1	
36	浸水害用品	土のう	0	0	

g 錦町自治会防災倉庫

No.	区分	品名	数量	目標数量	備考
1	情報伝達用具	本部看板	0	0	
2		スピーカーセット	0	0	
3		電気メガホン	1	1	
4		無線機	0	0	
5	消火用具	ファイヤーレンジャー	0	0	
6		消火器（消火器格納庫）	5	5	
7		初期消火用具（ホース3本、管鎗等）	0	0	
8	救出用具	梯子（2連アルミ）	1	1	
9		チェーンソー	0	0	
10		救助用工具セット	0	0	
11		ハンマー	1	1	
12		カケヤ	1	2	
13		ボルトクリッパー（鉄線鋏）	0	0	
14		一輪車	0	2	
15		リヤカー	1	2	
16		油圧ジャッキ	0	0	
17		チェンブロック	0	0	
18		ウインチ	0	0	
19		レスキューキット（リュック型）	0	0	
20	救護用具	救急セット50	1	1	
21		担架	2	2	
22		レスキューボード（簡易担架）	0	0	
23	避難所運営用具	コードリール	1	2	
24		投光器	1	2	
25		発電機（静音型）0.8kVA	1	2	
26		炊飯器・釜（3～5升炊）	0	0	
27		ガスボンベ	0	0	
28		防災テント	1	1	
29		防水シート（2間×3間）	0	10	
30		防災ヘルメット	48	68	
31		簡易トイレ	0	2	
32		毛布	0	20	
33		簡易ベッド	0	0	
34		車椅子	0	1	
35	給水用具	浄水器	0	0	
36	浸水害用品	土のう	0	0	

h 高羽町東自治会防災倉庫

No.	区分	品名	数量	目標数量	備考
1	情報伝達用具	本部看板	0	0	
2		スピーカーセット	0	0	
3		電気メガホン	2	2	
4		無線機	0	0	
5	消火用具	ファイヤーレンジャー	0	0	
6		消火器（消火器格納庫）	2	2	
7		初期消火用具（ホース3本、管鎗等）	1	1	
8	救出用具	梯子（2連アルミ）	0	0	
9		チェーンソー	0	0	
10		救助用工具セット	0	1	
11		ハンマー	1	1	
12		カケヤ	0	1	
13		ボルトクリッパー（鉄線鋏）	0	1	
14		一輪車	0	0	
15		リヤカー	1	1	
16		油圧ジャッキ	0	0	
17		チェンブロック	0	0	
18		ウインチ	0	0	
19		レスキューキット（リュック型）	0	0	
20	救護用具	救急セット50	1	1	
21		担架	0	1	
22		レスキューボード（簡易担架）	0	0	
23	避難所運営用具	コードリール	0	2	
24		投光器	0	1	
25		発電機（静音型）0.8kVA	0	1	
26		炊飯器・釜（3～5升炊）	0	0	
27		ガスボンベ	0	0	
28		防災テント	1	2	
29		防水シート（2間×3間）	0	20	
30		防災ヘルメット	20	30	
31		簡易トイレ	0	0	
32		毛布	0	20	
33		簡易ベッド	0	0	
34		車椅子	0	0	
35	給水用具	浄水器	0	0	
36	浸水害用品	土のう	0	0	

i 高羽町南自治会防災倉庫

No.	区分	品名	数量	目標数量	備考
1	情報伝達用具	本部看板	0	0	
2		スピーカーセット	0	0	
3		電気メガホン	0	1	
4		無線機	0	0	
5	消火用具	ファイヤーレンジャー	0	0	
6		消火器（消火器格納庫）	3	3	
7		初期消火用具（ホース3本、管鎗等）	0	1	
8	救出用具	梯子（2連アルミ）	0	2	
9		チェーンソー	0	1	
10		救助用工具セット	0	2	
11		ハンマー	0	2	
12		カケヤ	0	2	
13		ボルトクリッパー（鉄線鋏）	0	2	
14		一輪車	5	5	
15		リヤカー	0	1	
16		油圧ジャッキ	0	1	
17		チェンブロック	0	2	
18		ウインチ	0	2	
19		レスキューキット（リュック型）	1	2	
20	救護用具	救急セット50	1	1	
21		担架	2	2	
22		レスキューボード（簡易担架）	0	1	
23	避難所運営用具	コードリール	1	3	
24		投光器	2	5	
25		発電機（静音型）0.8kVA	1	2	
26		炊飯器・釜（3～5升炊）	0	1	
27		ガスボンベ	0	1	
28		防災テント	2	3	
29		防水シート（2間×3間）	5	15	
30		防災ヘルメット	10	40	
31		簡易トイレ	0	10	
32		毛布	0	100	
33		簡易ベッド	0	5	
34		車椅子	0	3	
35	給水用具	浄水器	0	0	
36	浸水害用品	土のう	0	200	

j 宮の前自治会防災倉庫

No.	区分	品名	数量	目標数量	備考
1	情報伝達用具	本部看板	0	0	
2		スピーカーセット	0	0	
3		電気メガホン	2	3	
4		無線機	0	0	
5	消火用具	ファイヤーレンジャー	0	0	
6		消火器（消火器格納庫）	10	10	
7		初期消火用具（ホース3本、管鎗等）	0	0	
8	救出用具	梯子（2連アルミ）	0	0	
9		チェーンソー	0	0	
10		救助用工具セット	1	1	
11		ハンマー	1	1	
12		カケヤ	1	1	
13		ボルトクリッパー（鉄線鋏）	0	0	
14		一輪車	4	4	
15		リヤカー	1	1	
16		油圧ジャッキ	0	0	
17		チェンブロック	0	0	
18		ウインチ	0	0	
19		レスキューキット（リュック型）	1	1	
20	救護用具	救急セット50	0	0	
21		担架	0	0	
22		レスキューボード（簡易担架）	0	0	
23	避難所運営用具	コードリール	2	2	
24		投光器	1	1	
25		発電機（静音型）0.8kVA	1	1	
26		炊飯器・釜（3～5升炊）	0	0	
27		ガスボンベ	0	0	
28		防災テント	1	1	
29		防水シート（2間×3間）	3	3	
30		防災ヘルメット	25	30	
31		簡易トイレ	0	0	
32		毛布	0	0	
33		簡易ベッド	0	0	
34		車椅子	0	1	
35	給水用具	浄水器	0	0	
36	浸水害用品	土のう	0	0	

k 諏訪町自治会防災倉庫

No.	区分	品名	数量	目標数量	備考
1	情報伝達用具	本部看板	0	0	
2		スピーカーセット	0	0	
3		電気メガホン	1	1	
4		無線機	0	0	
5	消火用具	ファイヤーレンジャー	0	0	
6		消火器（消火器格納庫）	20	20	
7		初期消火用具（ホース3本、管鎗等）	0	1	
8	救出用具	梯子（2連アルミ）	1	1	
9		チェーンソー	0	0	
10		救助用工具セット	0	1	
11		ハンマー	1	1	
12		カケヤ	1	1	
13		ボルトクリッパー（鉄線鋏）	0	1	
14		一輪車	2	2	
15		リヤカー	1	1	
16		油圧ジャッキ	0	0	
17		チェンブロック	0	0	
18		ウインチ	0	0	
19		レスキューキット（リュック型）	0	1	
20	救護用具	救急セット50	1	1	
21		担架	1	1	
22		レスキューボード（簡易担架）	0	0	
23	避難所運営用具	コードリール	1	4	
24		投光器	2	2	
25		発電機（静音型）0.8kVA	1	1	
26		炊飯器・釜（3～5升炊）	0	0	
27		ガスボンベ	0	0	
28		防災テント	1	1	
29		防水シート（2間×3間）	20	20	
30		防災ヘルメット	21	21	
31		簡易トイレ	0	6	
32		毛布	0	0	
33		簡易ベッド	0	7	
34		車椅子	0	3	
35	給水用具	浄水器	0	0	
36	浸水害用品	土のう	0	0	

1 宮ノ上自治会防災倉庫

No.	区分	品名	数量	目標数量	備考
1	情報伝達用具	本部看板	0	0	
2		スピーカーセット	0	0	
3		電気メガホン	0	0	
4		無線機	0	0	
5	消火用具	ファイヤーレンジャー	0	0	
6		消火器（消火器格納庫）	10	10	
7		初期消火用具（ホース3本、管鎗等）	16	16	
8	救出用具	梯子（2連アルミ）	1	1	
9		チェーンソー	1	1	
10		救助用工具セット	0	0	
11		ハンマー	0	0	
12		カケヤ	3	3	
13		ボルトクリッパー（鉄線鋏）	0	0	
14		一輪車	2	2	
15		リヤカー	0	0	
16		油圧ジャッキ	2	2	
17		チェンブロック	0	0	
18		ウインチ	0	0	
19		レスキューキット（リュック型）	3	3	
20	救護用具	救急セット50	1	1	
21		担架	2	2	
22		レスキューボード（簡易担架）	0	0	
23	避難所運営用具	コードリール	0	2	
24		投光器	2	3	
25		発電機（静音型）0.8kVA	1	2	
26		炊飯器・釜（3～5升炊）	0	0	
27		ガスボンベ	0	0	
28		防災テント	1	1	
29		防水シート（2間×3間）	19	19	
30		防災ヘルメット	0	0	
31		簡易トイレ	0	0	
32		毛布	0	0	
33		簡易ベッド	0	0	
34		車椅子	0	0	
35	給水用具	浄水器	0	0	
36	浸水害用品	土のう	0	0	

カ 避難所等

No.	区分	名称【鍵管理者】	所在地	電話	受入人数	災害種類
1	指定避難施設	飯田東中学校体育館	高羽町 3-16	22-0480	530 人	地・土・水
2	応急避難施設	慈光保育園	宮の前 4410-1	23-1390	200 人	地・土・水
		飯田市公民館	吾妻町 139	22-1132	1,220 人	地・土・水
		飯田文化会館	高羽町 5-5-1	23-3552	2,150 人	地・土・水
		東野自治会館	鈴加町 2-3	52-9585	130 人	地・土・水
		飯田市武道館	宮の前 4439-2	24-8090	870 人	地・土・水
		飯田市宮弓道場	宮の前 4439-2	24-8039	100 人	地・土・水
3	広域避難地	飯田東中学校グラウンド	高羽町 3-16	22-0480	4,270 人	地・土・水
4	避難地	中央公園	錦町、東和町、吾妻町		7,200 人	地・土・水
		駅西広場	高羽町 1-9		1,320 人	地・土・水
		高羽第 1 号公園	高羽町 5-4-1		800 人	地・土・水
		高羽第 2 号公園	高羽町 3-6-1		640 人	地・土・水
		並木通り	大宮通り		150 人	地・土・水
		アイ・パーク	上飯田 5259-12		800 人	地・土・水
		柏原公園	宮ノ上 4680-3		2,300 人	地・土・水

(3) 発災直前の活動（気象注警報発表・前兆現象の始まりから発災まで）

ア 情報収集・共有・伝達体制

(ア) 前兆現象等の連絡・報告

順位	誰がどこへ	何を（情報の種類）	どうやって（伝達手段）
①	前兆現象発見者→市役所 危機管理室	前兆現象の状況（いつ、 どこで、どのような状況 か）	電話連絡
②	前兆現象発見者→組長・ 自治会長→住民	〃 ※組長・自治会長は情報 受理後、直ちに自主避難 を呼びかける。避難を開 始	電話、若しくは直接口頭
③	①→消防・警察・消防 団・各自治振興センター へ連絡	前兆現象の状況及び避難 情報発出見込み情報	電話
④	自治会長→自治振興セン ター	地区内の状況を集約し共 有化	電話、不通時は地区で配備したデ ジタル無線機

※災害対策基本法 抜粋

第五十四条 災害が発生するおそれがある異常な現象を発見した者は、遅滞なく、その旨を市町村長又は警察官若しくは海上保安官に通報しなければならない。

2 何人も、前項の通報が最も迅速に到達するように協力しなければならない。

3 第一項の通報を受けた警察官又は海上保安官は、その旨をすみやかに市町村長に通報しなければならない。

(イ) 状況把握（見回り、住民の所在確認）

何を	いつまでに	誰が	どのように
河川の状況確認	警戒水位に達するまで	自主防災会役員、 河川付近の住民	2名以上で身の安全を確保しながら、堤防の状況等を確認
急傾斜地の状況確認	大雨警報若しくは土砂災害 警戒情報が発表されるまで	消防団、自主防災 会役員、レッドゾ ーン住民	2名以上で身の安全を確保しながら、前兆現象の有無確認
用水路の確認（つまり 等）	降雨が強くなるまで	用水路付近の住民、 組長	2名以上で身の安全を確保しながら、詰まりがないことを確認
住民の所在確認	大雨警報若しくは土砂災害 警戒情報発表直後	組長、自治会長	2名で近隣住民の所在を確認し、危険を感じた場合は避難を促す

イ 避難情報（避難準備情報・避難勧告・避難指示）伝達方法

(ア) 土砂災害・風水害・大雪等

順位	誰が誰に対して（対象者）	何を（情報の種類）	どうやって（伝達手段）
①	自治振興センター→自治会長	避難情報（避難準備情報・避難勧告・避難指示） 避難所開設情報	電話連絡、不通時は地区で配備したデジタル無線機
②	①→組長（自治会長）	〃	電話、若しくは直接口頭
③	②→レッドゾーン居住者	〃	電話、若しくは直接口頭
④	②→地区民全員	〃	電話、若しくは直接口頭・拡声器
⑤	④→避難行動要支援者（支え合いマップ要支援者）	〃	電話、若しくは直接口頭

(イ) 地震

順位	誰が誰に対して（対象者）	何を（情報の種類）	どうやって（伝達手段）
①	自治振興センター→自治会長	避難情報（避難勧告・避難指示）、避難所開設情報	電話連絡、不通時は地区で配備したデジタル無線機
②	①→組長（自治会長）	〃	電話、若しくは直接口頭
③	②→レッドゾーン居住者	〃	電話、若しくは直接口頭
④	②→地区民全員	〃	電話、若しくは直接口頭・拡声器
⑤	④→避難行動要支援者（助け合いマップ要支援者）	〃	電話、若しくは直接口頭

ウ 防災気象情報の確認

何を	いつまでに	誰が	どのように
大雨注意報	発表直後、直ちに確認	住民全員	テレビ、ラジオ等からの情報
大雨警報	発表直後、直ちに確認	同上	同上
土砂災害警戒情報	発表直後、直ちに確認	同上	エリアメール、いいだ安全安心メール、同報系防災行政無線、安心ほっとライン等
大雨特別警報	発表直後、直ちに確認	同上	同上

* 防災無線鍵保管者

吾妻町南 ■自治会長、吾妻町西 ■自治会長、宮の前 ■自治会長
宮ノ上 ■自治会長、高羽町東 ■自治会長、高羽町南 ■自治会長

(4) 災害時の活動

ア 身の安全確保（地震）

何を	いつまでに	誰が	どのように
ダンゴムシのポーズ	緊急地震速報が流れたら直ちに実施。揺れが収まるまで。	全住民	身を小さくし、頭を守り、動かない。
一時避難場所への避難	揺れが収まったら、最寄りの一時避難場所へ集合する。	全住民	組合ごとに集まり、安否確認をする。

イ 身の安全確保（風水害、土砂災害）

何を	いつまでに	誰が	どのように
安全な場所への避難（水平避難）	土砂災害が発生する前の安全な状態のうちに。	危険を感じた全住民 避難情報発令対象地区の住民 土砂災害特別警戒区域の住民	動きやすい服装、運動靴で安全な場所へ移動する。
やむを得ず高いところへの避難（垂直避難）	別の場所へ避難することが危険な場合	同上	建物の2階以上の山から離れた部屋に移動する。

ウ 出火防止、初期消火

何を	いつまでに	誰が	どのように
通電火災の防止	揺れが収まり、一時避難所へ向かうとき	全世帯	ブレーカーを遮断
初期消火	天井に炎が到達するまで	協力できる頑健な住民	消火器による初期消火 初期消火用具による放水

エ 住民同士の助け合い・救助・救出・避難支援

何を	いつまでに	誰が	どのように
避難行動要支援者への支援	災害発生前後	予め定めた支援者若しくは隣近所の住民	要支援者の自宅に出向き安否を確認。避難が必要であればその支援をする。
隣近所の安否確認	災害発生前後	組長及び全住民	各戸の居住状況の確認及び垂直避難の呼びかけ
倒壊家屋等からの救助	被災後直ちに	隣近所を中心とした住民	救助用資機材及び2人以上の人員を確保し、2次災害に留意しながら救助活動を行う。

オ 情報収集・共有・伝達

何を	いつまでに	誰が	どのように
安否の確認	被災直後、出来るだけ早く	自治会長、組長及び全世帯	各戸の状況を組長が把握。直ちに自治会長へ連絡し、最終、自治振興センターへ。「全員無事」も重要な情報
被害の状況 (ライフラインを含む)	被災直後、出来るだけ早く	同上	いつ、どこで、誰が、どういう状況か、支援の必要の有無を、自治振興センターへ伝達する。「人命・住家」に関する情報を優先する。
避難生活に関する情報	避難所開設後、随時	自治会長、避難所運営責任者	現在不足しているもの、将来的に発生するであろう課題に対する要望について情報収集をする。在宅避難者のニーズ把握も忘れない。

カ 物資の仕分け、炊き出し

何を	いつまでに	誰が	どのように
物資の仕分け	物資が避難所に到着した時から	物資担当（指定避難施設の運営を担当する自主防災役員）	避難施設内に物資を置く場所を確保 避難者へ配分するもの、希望者のみに配布するもの等を区別 男女の性差に応じた配布時の配慮を。 配布等については、情報の開示に特に配慮を。
炊き出し	被災直後、最初の夜までに1回は行う。以降、物資の状況に合わせて、1日朝・夜の2回を目安	赤十字奉仕団を中心とするボランティア	自治会長又は自治会長の要請を受けて、炊き出しを実施。食材・燃料の確保状況を鑑みながらメニューを立案

キ 避難所運営、在宅避難者への支援

何を	いつまでに	誰が	どのように
避難所の開設	避難所開設指示受理後直ちに、又は被災後直ちに	自主防災会役員及び早期に来た住民	チェックシートによる施設の安全確認。施設の清掃、利用スペースの確認、資機材の準備
避難所の受付	施設の安全が確認され、準備が整ってから	同上	開設準備及びルールが決定後、受付名簿により避難者を把握
避難所の運営	被災直後から概ね3ヶ月	自主防災会役員（女性を含めること）	長期間に及ぶ場合は、運営ルールを決定する。物資の配分、炊き出しや清掃、防犯など役割をみんなで担う
在宅避難者への支援	被災後からライフライン復旧（1ヶ月）まで	同上（在宅避難者にも役割を担ってもらう）	飲料水、食糧等を求めに来るため、配分等に在宅避難者も協力してもらう。登録は必須

(5) 復旧・復興期の活動

ア 被災者に対する地域コミュニティ全体での支援

何を	いつまでに	誰が	どのように
心のケア	安定した生活が送れるようになるまで	隣近所でお付き合いのある住民	日常的な声かけ、あいさつのほか、話し相手となること
情報の提供・共有・わかりやすい説明	同上	同上 避難所等運営している顔の見える関係のある者	先の見通しや、支援に関する制度がわからないことが予見。誰にでもいつでもわかる情報共有を！

イ 関係者の連携による速やかな復旧・復興

何を	いつまでに	誰が	どのように
復興計画策定に向けた地元意見の集約	計画策定中	まちづくり会議の役員	市が策定する復興計画への意見の集約や提案をワークショップなどの手法を用いて取りまとめる。
仮設住宅の予定地を予め決めておく	災害発生前までに	市、地元まちづくり会議	各地区の被害予測から仮設住宅の必要見込みを検討し、適地を予め登録しておく

(6) 市、消防、他団体、ボランティア等との連携（平常時～復興まで）

何を	いつまでに	誰が	どのように
危険箇所の把握	平常時	市、自主防災会、消防団	ハザードマップを用いて現地確認
初期消火活動	平常時～応急期	消防団、自主防災会	資機材の点検を兼ねて放水等の訓練を実施
炊き出し	平常時～応急期	市、赤十字奉仕団、ボランティア組織、自衛隊	材料の調達、資金負担、役割分担等を予め確認。訓練も実施
ボランティア活動	平常時～応急期	市、赤十字奉仕団、ボランティア組織、社協	ボランティアセンターの立上げやニーズの把握、ボランティアの受入等多岐にわたる内容を予め訓練等で調整

6 実践と検証

(1) 防災訓練の実施・検証

何を	いつまでに	誰が	どのように
避難訓練	毎年1回（9月）	全住民、自主防災会役員	災害別に、いつ、どこへ、どこを通過して避難するか、実働する。
避難場所・避難路の確認訓練	同上	同上	災害別にどこが安全か確認する。
避難行動要支援者把握訓練	同上	同上	近隣の避難行動要支援者の把握と、声掛け
安否確認訓練	同上	同上	一時避難場所での安否確認訓練
避難所開設訓練	同上	同上	避難所を開設するための資機材の運搬、受付開設の訓練
避難所運営訓練	同上	同上	物資の確保、情報の共有、炊き出し等の実動型の訓練。避難所体験も行うと良い。
情報伝達・収集訓練	同上	同上	災害の概要をいかに早く把握し、住民や関係機関と共有するか。
消火訓練	同上	同上	初期消火をいち早く行うための訓練
給水・給食訓練	同上	同上	給水活動や炊き出しといった訓練
救命救護訓練	同上	同上	医師と連携トリアージ訓練や、赤十字救急法による軽症者の手当
資機材取扱訓練	同上	同上	様々な防災資機材の使い方を習得

(2) 防災意識の普及啓発

何を	いつまでに	誰が	どのように
家族での話し合い	季節ごとに1回	家族ごと	夕飯時に、どこが危険か、どこへいつ避難するか、安否確認はどうやって行うかを話し合う。

地域での話し合い	自治会ごとに年3回	組長、自治会長、自治会役員	危険箇所、避難場所、事前対策、応急対応について話し合い。
	東野地区の行事（総会、運動会、文化祭など）ごと	東野まちづくり会議 防災担当	防災に関する各種情報、啓発事項等を周知・徹底
地域イベントでの防災要素の取り入れ	通年	各役員	様々なイベントで、防災要素を1つは組み入れていく。
研修会・講演会の開催	東野地区自主防災会で年1回	全住民	防災知識を高めるため、講師を呼び学習機会を設ける。
被災地の視察、教訓を学ぶ	年1回	自主防災役員	他地域の被災状況や教訓を学び、自らの地域に役立てる。自身の地域の災害伝承についても学ぶ。
防災に関するパンフレット、チラシの配布	年1回	全戸	家庭内備蓄を進めたり、家具の転倒防止を推進するためのチラシやパンフレットを配布する。
防災ゲームの実施	年1回	全住民のうち希望者及び自主防災会役員等	クロスロード、避難所運営ゲームといった防災ゲームを取り入れます。

(3) 計画の見直し

何を	いつまでに	誰が	どのように
地区防災計画	毎年2月末までに	自主防災会役員	1年間の訓練や活動実績を踏まえて、実態に則した計画の見直しを行う。
地区防災マニュアル (風水害編)	今後作成予定	同上	市の策定マニュアルにより
地区防災マニュアル (地震編)	同上	同上	同上
地区防災マニュアル (雪害編)	同上	同上	同上
避難所運営マニュアル	同上	同上	同上

飯田市自主防災組織施設整備事業 3か年事業計画書

平成29年10月30日

東野 地区自主防災会

年度	平成30年度 [2018年度]				平成31年度 [2019年度]				平成32年度 [2020年度]						
	品名	数量	単価	金額	品名	数量	単価	金額	品名	数量	単価	金額			
1	電気メカホン	1	20,000	20,000	チェンソー	1	50,000	50,000	救助用具セット	1	75,000	75,000			
2	梯子	1	20,000	20,000	救急セット50	1	78,000	78,000	発電機 (静音型)	1	130,000	130,000			
3	チェンソー	1	50,000	50,000	発電機 (静音型)	2	130,000	260,000	簡易トイレ	1	40,500	40,500			
4	コードリール	6	6,000	36,000	簡易トイレ	1	40,500	40,500	スコップ (丸)	4	3,000	12,000			
5	投光器	3	10,000	30,000	浄水器	1	254,000	254,000	ロープ (20m・12mm)	5	4,500	22,500			
6	防水シート	20	4,000	80,000											
7	防災ヘルメット (名入れ共)	50	2,500	125,000											
8	車椅子	2	34,000	68,000											
9	投光器 (LED充電式)	2	30,000	60,000											
10															
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															
26															
27															
28															
29															
30															
	30年度 合計				489,000	31年度 合計				682,500	32年度 合計				280,000

東野地区防災計画

～Community Disaster Management Plan～

制作・著作 東野地区自主防災会

発行日：平成 27 年 3 月 1 日 初版

平成 27 年 11 月 30 日 改定

平成 29 年 2 月 28 日 改定

平成 30 年 2 月 28 日改定

〒395-0082

長野県飯田市宮の前 4398-2

東野公民館内

TEL:0265-24-9144

ファクシミリ：0265-52-2854

E-mail：higashinokaigi@gmail.com

※本書の内容の一部または全部を複写・複製・引用する場合は、上記の制作・著作まで必ずご一報ください。